

運動失調に対する理学療法評価とアプローチの考え方

ー バランス障害を中心に ー

運動失調による協調性障害、特に理学療法士にとって重要なバランス障害を中心に、運動失調の捉え方、運動失調およびバランス障害の評価、バランス障害に対する理学療法について、一部実技も含めながら話をさせていただきます。以下のような内容を考えています。

1. 運動失調について
 - ①小脳の機能と運動失調
 - ②運動失調の捉え方（協調性とバランス）
2. バランス障害について
 - ①バランスの捉え方
 - ②バランス障害の評価
3. バランス障害に対するアプローチ
 - ①アプローチの考え方
 - ②進行性疾患（SCD）に対するアプローチの考え方
 - ③理学療法例の紹介

日時	2018年9月8日（土） 受付 9:30 研修 10:00 ~ 16:00
会場	東京衛生学園専門学校 東京都大田区大森北4-1-1 京浜東北線 大森駅 徒歩5分
申し込み資格	理学療法士・作業療法士 などリハビリテーション関連職種
参加費	10,800円（資料代金を含む）
講師	文京学院大学 保健医療技術学部 理学療法学科 教授 望月 久 先生 失調症、バランス関連の著書多数 ・ 神経疾患③運動失調症：理学療法評価学テキスト、南江堂、2010 ・ 脊髄小脳変性症により運動失調を呈した62歳女性に対する外来理学療法：理学療法フィールドノート 脳血管障害・神経疾患、南江堂、2008 ・ 協調性障害に対する運動療法：運動療法学、文光堂、2008
申し込み方法	スターティングアゲインのホームページから申し込みください。 スマートフォンのメールを登録アドレスに使用しないでください。
問い合わせ先	スターティングアゲイン starting.again.615@gmail.com